



新年のごあいさつ

生活協同組合コープぐんま
理事長 梅澤 義夫



新年あけまして
おめでとーございませう。

組合員の皆さまには、日頃よりコープぐんまのご利用と様々な活動へのご参加、ご協力いただき心より感謝申し上げます。

2017年、国内外ともに、日本を取り巻く情勢は不安が大きく膨らむばかりの年となりました。景気回復への兆しはなく、超高齢社会や貧困の問題にくわえ、人手不足が深刻化してきました。さらに、季節外れの超大型台風21号による全国的な被害など、温暖化が影響していると思われる自然災害は年を追う毎に大きくなっていると感じます。また、10月に行われた衆議院議員総選挙では、政府与党が三分の二以上の衆議院議席を獲得し、圧勝という結果でした。近隣諸国との関係がかつてないほど緊張を増してきていることもあり、今後、憲法改正への動きが加

速して行くと思われまます。平和憲法の重要性をあらためて考えさせられることとなりました。

そのような中、コープぐんまは、宅配事業では子育て世帯を応援するサブブランド「さらさらステップ」の導入や、組合員のくらしにより貢献するため、医薬品（一般市販薬）の販売をカタログ誌面で開始しました。店舗事業ではプリペイド機能のついた「ほべたんカード」への切替えやお支払いセルフレジの実験導入、一昨年新たに開始した福祉事業では、地域・団体との協力関係づくりを推進し、今後の事業拡大に向けた土台づくりをすすめるなど、組合員の声を事業に生かして取り組みました。また、東日本大震災復興支援を行うとともに、九州北部豪雨災害緊急支援募金に取り組みました。福島第一原子力発電所の事故から8年目を迎える今年も、「忘れない」「伝える」「続ける」「つなげる」を合言葉に、復興半ばの被災地支援に取り

組んでいきます。

2018年、コープぐんまは、組合員やコープデリ連合会とともに、組合員のくらしを少しでも明るいものにできるよう、取り組んでいきます。

一人でも多くの組合員に喜んでいただけるよう、役員全員がコープファンづくりに結びつく仕事をすることを基本に、地域とともに歩む宅配・店舗を目指して、くらしと地域のさまざまな課題、要望に応えるサービスや取り組みをすすめていきます。また、福祉事業では、生活支援や介護だけでなく、総合的な福祉を考え、安心してくらしをまねていくことを目指します。

組合員の皆さまのご健康とご多幸を心からお祈りいたします。本年もどうぞよろしくお申し込み申し上げます。

2018年 元旦

私たちの生協の概況<10月度決算>

組合員数	31万0,233人	10月度経常剰余	5,286万円 (予算差 5,953万円)
10月度全体供給高	25億5,673万円 (予算比 100.0%)	(年度累計経常剰余)	5億5,084万円 (予算差 3億8,054万円)
店舗供給高	7億8,312万円 (予算比 99.7%)	出資金額	56億7,310万円
コープデリ宅配供給高	17億7,609万円 (予算比 100.2%)	1人当たり出資金額	18,287円 (前月比 △44円)
(年度累計供給高)	181億5,371万円 (予算比 100.4%)	《たすけあい共済給付実績》 (10月度)	1,538件 57,565,500円

募金の取り組み報告(10月度)

内容	募金額
ユニセフ募金	29,607円
東日本大震災復興支援	37,140円
九州北部豪雨災害緊急支援募金	3,205円
ハッピーミルクPJ募金	2,194円
平和募金	8,636円

※上記以外にも募金の取り組みを行っています。

リサイクルデータ(10月度)

内容	牛乳パック	食品トレイ	ペットボトル	商品案内
店舗	2,392kg	1,366kg	4,400kg	
コープデリ宅配	2,709kg	192kg	3,416kg	197,476kg

※上記以外にもリサイクルの取り組みを行っています。

ご協力ありがとうございます。 今後よろしくお願ひします。

